

平成 26 年度教職大学院派遣研修報告書

派遣者番号	26K01	氏名	渡邊 菜穂子
研究主題	児童の自己学習力を育む文学的文章の指導		
所属校	新宿区立落合第六小学校	派遣先	創価大学教職大学院

項目	内容
I 研究の目的	<p>昨今、児童の学習意欲の低下が問題されている。国語科の文学的文章の学習においても、同様な課題が見受けられる。児童の学ぶ意欲を向上させ、今日的な生きる力の育成を目指すためには、教師主導型の発問中心による授業のみに固執するのではなく、児童が自ら課題を作り解決に向けて読みを深めていく「児童中心型の読みの授業」へ転換していく必要がある。</p> <p>本研究では、「児童中心型の読み」を通して、児童の「自己学習力」の育成に着目する。そして、「自己学習力」を身に付けることで、「学ぶ意欲」につながる楽しさや達成感を児童が得られるような、単元の構成を示すことを研究の目的とする。</p>
II 研究の方法	<p>(1) 「自己学習力」の定義</p> <p>本研究で述べる「自己学習力」とは、以下の三点を備えていることを定義とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自ら読みの学習課題を設定する力 ②課題の解決に向かい、自力で文章を読み深める力 ③課題解決を通して自己変容していく力 <p>(2) 先行実践の考察</p> <p>上述の定義の中で、特に「児童が自ら読みの学習課題を設定しその解決に自力で向かう」ことに関する先行実践について取り上げ、その成果と課題を整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良女子大学附属小学校、西田淳教諭の「自律的な読みを深める教師の出方その二～物語『大造じいさんとガン』(第5学年)」 ・ 日本生活教育連盟フレネ教育研究会、本谷宇一氏の「子どもの納得が開いた学びの世界…こんな勉強なら～第6学年『きつねの窓』安房直子作」 <p>先行実践の分析から、「個人での課題設定」や「自力での課題追究」が児童の学びに与える影響を実感することができたが、課題として「個の読みの課題設定の質の向上」や「個の課題解決の能力差への対応」が浮かび上がった。</p> <p>(3) 検証授業</p> <p>先行実践から見てきた課題への手だてを踏まえた単元指導計画を作成し、都内小学校第6学年で、一単元6時間の検証授業を行った。</p> <p>【教材】 「きつねの窓」(安房直子作教育出版第6学年)</p> <p>【調査方法】 一単元6時間の授業実践を行い、児童の学習記録及び実施後のアンケートから、本単元提案の成果と課題を検証した。</p> <p>【「自己学習力」を育む手だて】</p> <p>「個の読みの課題の質の向上」及び「課題解決の能力差への対応」のため、以下の三点を工夫する。</p>

	<p>① 個人課題の設定を第1時間目に行い、以後、解決の時間までは、課題の更新及び再構成を可とする。(毎時間最後の5分を「共通課題」の学びを「個人課題」につなげる「リンクの時間」とする。)</p> <table border="1" data-bbox="847 185 1431 517"> <thead> <tr> <th>時</th> <th colspan="2">主な学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>単元の見通しをもつ</td> <td>個人課題設定</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>物語の設定を読む(全体)</td> <td rowspan="2">・リンクの時間 ・個人課題 再構成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>共通課題を読む(全体)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>共通課題を読む(全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">個人課題追究(個人)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">個人課題解決・交流</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 個の課題を設定する能力の差に対応のため、自己個人学習(個人課題を追究及び個人課題を解決の時間)を、共通課題を解決する全体学習の後(第5・6時間目)に位置付ける。</p> <p>③ 共通課題を解決する学習の中で、自己学習の際に生かされる、読み進め方、読み深め方、課題解決の仕方、表現の仕方を身に付けられるようにする。</p>	時	主な学習内容		1	単元の見通しをもつ	個人課題設定	2	物語の設定を読む(全体)	・リンクの時間 ・個人課題 再構成	3	共通課題を読む(全体)	4	共通課題を読む(全体)		5	個人課題追究(個人)		6	個人課題解決・交流	
時	主な学習内容																				
1	単元の見通しをもつ	個人課題設定																			
2	物語の設定を読む(全体)	・リンクの時間 ・個人課題 再構成																			
3	共通課題を読む(全体)																				
4	共通課題を読む(全体)																				
5	個人課題追究(個人)																				
6	個人課題解決・交流																				
<p>Ⅲ 研究の結果</p>	<p>第1時間目に個人課題を設定した際は、ほとんどの児童が自分なりの読みの課題を設定することができたが、その解決に向けて見通しが見つかず、戸惑っていた。しかし、共通課題を解決する学習の中で個人課題を既に解決したり、新たな読みの課題を再設定したりするなど、課題の再構成に取り組む様子が多く見られた。そして、最終の個人課題を追究する学習では、全ての児童が個人課題として設定した読みの課題を解決することができた。</p> <p>授業後実施した児童からの授業アンケートでは、今回初めて行った「自己学習」に対し、17名の児童が楽しかったと回答した。その理由として「自分が立てた課題が達成できるのは楽しいから」と達成感を理由に挙げたり、「他の物語も読んで想像してみたい」と読書への意欲を示したりするなど、学習を通し自己の読むことへの意識が変容していく様子も見られた。</p>																				
<p>Ⅳ 考察</p>	<p>(1) 成果</p> <p>児童が学習への楽しさ、達成感を得るためには、自己学習の充実が鍵となり、それには単元の中における個人課題解決の時間を、共通課題を解決する時間の後に位置付ける単元構成が効果的であることが明らかになった。</p> <p>また、共通課題の学習の中で、課題追究の方法、解決結果の表現の仕方など、「読み方」を含めた「学び方」を学ぶことは、自己学習を支える手だてとなることも分かった。</p> <p>(2) 課題</p> <p>本研究では、自己学習後の交流について、感想交流という活動にとどまったが、どのような交流の仕方が自己学習を充実させるか、今後検討していく。また、個人課題の解決の難しさを訴える児童も数名おり、今回行った支援以外に、どのような支援が工夫できるか、更なる検討が必要である。</p> <p>本研究では、個人課題を設定しやすいよう、児童が最も好むファンタジー作品を教材として活用したが、他のジャンルの教材ではどのように自己学習を進めていけるかについて、今後の課題として取り組みたい。</p>																				